

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（ちくまがわじょうりゅう） 千曲川上流森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 とうしん 東信森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、千曲川上流森林計画区の上田市を含む4市6町5村に所在する約59千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は長野県東部に位置し、森林現況は、人工林47%、天然林43%、その他10%となっている。また、人工林の樹種構成（面積比）は、カラマツ85%、アカマツ8%、ヒノキ4%、その他3%となっており、カラマツの育成適地であることから、カラマツの占める割合が極めて高い地域である。</p> <p>本計画区の国有林野は、森林計画区的全森林面積の約33%であるが、奥地にその多くがまとまって所在していることから、水源涵養や山地保全の役割を果たしており、その90%は水源かん養保安林に指定されている。本地域は年間降水量が少ないため、農業用水は古くからため池に、飲料用水は山麓の地下水や湧水に依存しており、本計画区の国有林野は地域の人々の生活を支える重要な役割を果たしている。</p> <p>本計画区では、戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎え、資源の充実に伴う主伐の増加が見込まれており、これに伴い既に植付け等の更新作業、除伐や間伐等の保育作業を要する林分も多くなりつつあることから、森林整備の必要性が高まっている。さらに、カラマツ材を取り扱う木材加工・流通業が盛んであり、木材の安定供給が求められている。</p> <p>また、本計画区には、上信越高原国立公園をはじめとする豊かな自然環境・景観に恵まれた森林を有している。</p> <p>さらに、令和5年度上半期に実施した完了後の評価では、地元長野県から「今後とも、計画に沿った着実な事業実施に努めていただき、間伐等の森林整備の推進や、今後、増加が見込まれる主伐後の再生林に係る伐採・造林一貫作業システムなどの低コスト造林及び獣害防止対策等、地域ニーズを組み入れながら民有林と一体となって取り組まれない」との意見を得ている。</p> <p>このため、本事業は、本計画区内の国有林が有する水源涵養機能、山地災害防止機能、木材等生産機能等の多面的機能が高度に発揮されるよう植栽等の更新作業、間伐等の保育作業、多様な森づくりに向けた複層伐等を推進する。また、これらの森林整備等に必要となる林道等の路網についても、自然環境に十分配慮しながら整備する。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 10px;">更新面積</td> <td>1,278ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,298ha</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">路網整備</td> <td style="padding-right: 10px;">開設延長</td> <td>14.47km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.75km</td> </tr> </table> ・総事業費 6,196,111 千円（税抜き 5,632,827 千円） 	森林整備	更新面積	1,278ha		保育面積	4,298ha	路網整備	開設延長	14.47km		改良延長	2.75km
森林整備	更新面積	1,278ha											
	保育面積	4,298ha											
路網整備	開設延長	14.47km											
	改良延長	2.75km											
費用便益分析	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">16,737,226 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">6,731,609 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">2.49</td> </tr> </table>	総便益（B）	16,737,226 千円	総費用（C）	6,731,609 千円	分析結果（B／C）	2.49						
総便益（B）	16,737,226 千円												
総費用（C）	6,731,609 千円												
分析結果（B／C）	2.49												
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当と判断される。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資すること、また、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与することから、その必要性が認められる。 ・効率性： 森林整備では、伐採・造林一貫作業システムの導入、現地の植生等に応じた下刈の省力化などを行うことにより、また、路網整備では、地形に沿った線形とし、構造物の設置を抑制するとともに、民有林林道と連携した路網整備を推進することにより、作業効率の向上及びコストの縮減を図ることとしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 計画的な保育等の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて、多面的機能を発揮する健全な森林整備に資するものであり、また、森林施業の効率化、低コスト化についても民有林との連携の取組を通じて民有林への普及を図ることとしている。加えて、木材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>												

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：長野県

施行箇所：千曲川上流森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,475,954	
	流域貯水便益	948,428	
	水質浄化便益	3,692,067	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,916,524	
環境保全便益	炭素固定便益	850,546	
木材生産等便益	木材利用増進便益	1,756	
	木材生産確保・増進便益	696,890	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,155,061	
総 便 益 (B)		16,737,226	
総 費 用 (C)		6,731,609	
費用便益比	$B \div C = \frac{16,737,226}{6,731,609} = 2.49$		

森林環境保全整備事業 千曲川上流森林計画(長野県) 事業概要図

森林整備事業 (機械地拵作業)



浅間山国有林

森林整備事業 (植付・フォワーダの活用)

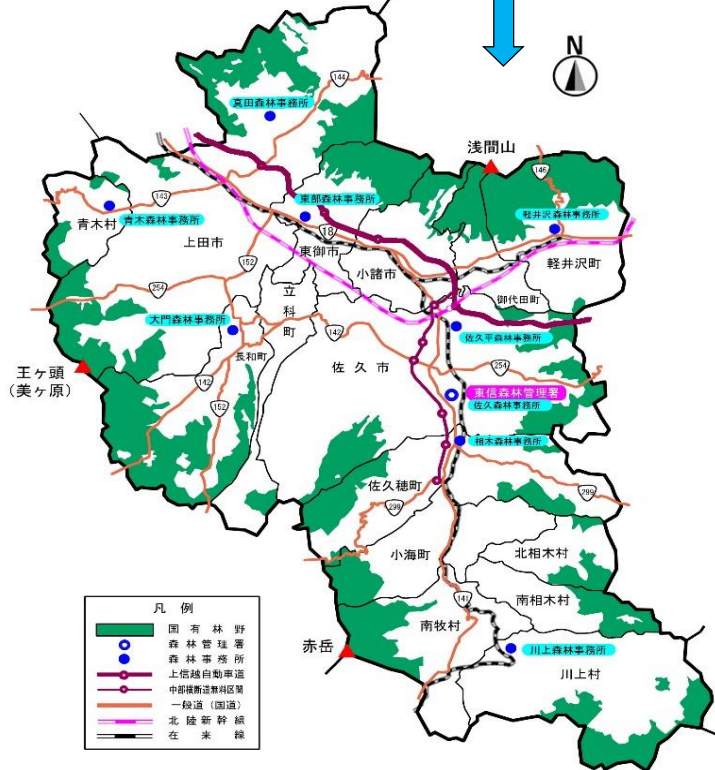
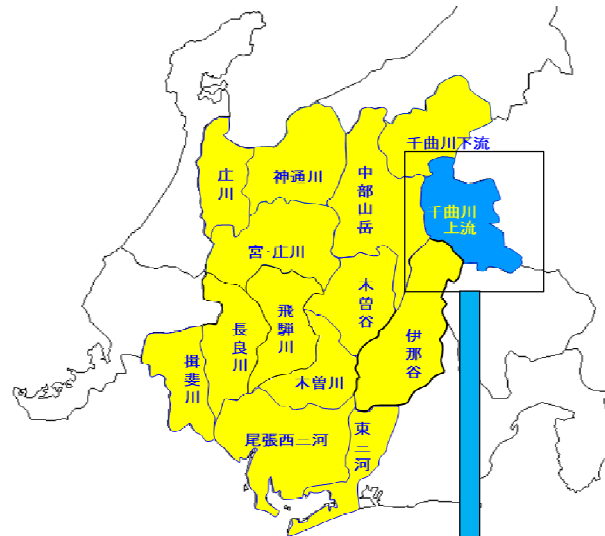


和山国有林

森林整備事業 (植付作業)



傍陽山国有林



森林整備事業 (間伐)



傍陽山国有林

路網整備事業 (林道新設工事)

大門本沢林業専用道新設

(工事中)



(新設後)

